

合併から10年

門脇光浩市長（以下、門脇）今年で仙北市は合併10周年。今回の座談会は、観光大使の皆さんのお力を借りて仙北市を全国に発信しながら、仙北市の皆さんにも観光の協力者、実践者になってもらうきっかけにしたいということで開催しました。

10年たって
思いが共有されてきた／佐藤



佐藤和志（以下、佐藤）合併には時間がかかりましたね。「角館」「田沢湖」「西木」という名前を残したかったんですが、だからといって3つ並べるわけにもいかず…。10年たった今では、歴史と武家屋敷の角館、山と湖と温泉の田沢湖、日本の原風景である里山の西木、それぞれ特徴のある地域だからこそ、多くの人に満足してもらえらんだという思いが共有されてきたように感じます。

「すか？」と聞いてみたら、会場がシーンとしてしまって、出た言葉が「住民税が上がっただけだ」でした。その時はやっぱり「西木は西木、角館は角館、田沢湖は田沢湖」という意識があったと思うんですが、時間をかけて、それぞれが周りのよさや役割を認めて一つの市になってきたんだなあと思いました。

外から見た仙北市

門脇 合併には時間がかかったんですが、10年かけてようやく一つの「仙北市」という意識が芽生えてきました。外から見た仙北市は、どのように映っているんでしょうか？

古賀和則（以下、古賀）仙北市は個性がそろっている地域はあまりないんじゃないですか。乳頭温泉郷以外にも、玉川温泉やほかの温泉もある。さかなクンがクニマスを再発見したし、お祭りだって本当に素晴らしい。わらび座もあるし、高いポテンシャルを持っています。

入浴剤の商品化にあたり、乳頭温泉郷を訪れました。秋田空港に降り立った瞬間、秋田弁を聞いて「秋田に来たんだなあ」としみじみ思ったのを覚えています。

地元のことを誇りに思っている／ha-j



ha-j 仙北の人は方言を堂々と使う人が多くていいですね。地元のことを誇りに思っていることの表れですよ。角館のお祭り」での花形は、黄色いたすきをかけた「交渉」の役人。それには正しく方言を使えなければならぬから、小さいころから方言を教えられるんですね。そうやって地元の言葉を大事にすることが地元愛につながっているんだと思います。

家族や友人のように接してくれて、「ホッとする」／小桜



小桜 「角館のお祭り」の山ぶつけは、手踊りも美しいですよ。あの色気はほかにはないですよ。「なんで私はここに生まれなかつたんだろ」と思うほどに感動しました。荒木田裕子（以下、荒木田）地元を離れて初めて、帰るところがあるってありがたいな、と思ったんです。同級生からたまに連絡が来て、「元気だが？」なんて秋田弁で言われると、やっぱりうれしいです。

小桜 秋田の人は初めて会った人に対して家族や友人に対するように接してくれますよね。私が秋田出身じゃないことを知っていて「おかえり」と迎えてくれます。他県からのファンの方々も「また秋田に行きたい」とおっしゃいます。私にとって「第二の故郷」ですが、訪れた人皆がホッとするといいですね。

仙北市に名所や旧跡はない。すごいのは「生活文化」／西木



西木正明（以下、西木）これまで170カ国を訪れてみてあらためて

仙北市を語る。

合併10周年
特別企画
観光大使座談

仙北市は、今年で合併10周年。そこで、仙北市が誇る5人の観光大使が一堂に集まり、市長、観光連盟会長と共に、仙北市の観光について熱く語ってくれました。



門脇光浩さん
Mitsuhiro Kadowaki
仙北市長

Profile
旧西木村出身。旧西木村役場職員を退職後、2003年に秋田県議会議員に当選。2009年、仙北市長に就任し、現在2期目を務めている。

ha-jさん
ha j
作曲家

Profile
本名・佐藤肇（さとうはじめ）さん。旧角館町出身。嵐やSMAPなど数々の人気アーティストの楽曲制作を手がけ、音楽プロデューサーとして活躍している。

荒木田裕子さん
Yuko Arakida
日本バレーボール協会強化事業本部長

Profile
旧田沢湖町出身。モントリオールオリンピック女子バレーボールの金メダリスト。2020東京オリンピック、パリオリンピック組織委員会の理事も務めている。

古賀和則さん
Kazunori Koga
(株)バスクリン代表取締役社長

Profile
株式会社バスクリン（東京都）の入浴剤「日本の名湯」シリーズの一つ、「乳頭」の製造販売が縁となり、観光大使を務めている。

西木正明さん
Masaaki Nishiki
作家

Profile
旧西木村出身。1988年に「凍れる瞳」で「端島の女」で第99回直木賞を受賞。第29回国民文化祭・あきた2014では総合プロデューサーを務めた。

小桜舞子さん
Maiko Kozakura
歌手

Profile
2001年に角館の武家屋敷通りを舞台とした「恋する城下町」で歌手デビューしたことが縁で観光大使を務める。毎年仙北市にてコンサートなどを開催している。

佐藤和志さん
Kazushi Sato
(一社)田沢湖・角館観光連盟会長

Profile
乳頭温泉郷（有）秘湯鶴の湯温泉代表取締役。日本秘湯を守る会会長。観光庁の観光カリスマとして後進の育成にも取り組んでいる。